

ストレングスエルゴニュース 第4号

(2005/12/1)

トピックス

(1) 新カタログ紹介

A4/4頁構成のカタログになりました。今までの見開きページのものから簡素化し、オプションなども最新の状況に修正致しました。今までのカタログはファイルに綴じにくい面もありましたが、内容の見直しとともに用紙も変更いたしました。医療機器製造許可番号23BZ005012も4月の法改正で改定されており、すべて見直したものになりました。(2005年10月作成)

(2) ストレングスエルゴ240の出展状況

① 第40回日本理学療法士協会全国研修会 (名古屋国際会議場)

平成17年10月7日 (金) ~8日 (土)

出展25社 車椅子、リハビリ用トレーニング機器、各種計測機器の展示が主。当社ブースにも約70名の先生方がお見えになり、試乗体験、意見交換、デモ希望などがありました。今後の個別フォローでは、関係部門のご協力を宜しくお願い致します。

詳細は下記ホームページをご参照下さい。

(http://www.aichi-pt.jp/40zenken/zenken_top.html)

② リハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪2005

(大阪国際会議場 (グランキューブ大阪))

平成17年10月28日 (金) ~29日 (土)

約80名の先生方がお見えになり、試乗、デモ希望、ご採用計画のお話などがありました。

詳細はホームページ (<http://www.pac.ne.jp/rehacare-osaka/>) をご参照下さい。



ワンポイント紹介

(1) 簡易操作マニュアル紹介

主な操作方法と患者さんへの使用方法を簡便にまとめた8頁の資料です。医療現場での操作説明/使用方法の紹介が分かりやすくなります。納入時の操作説明、デモ機の説明会などで是非ご活用頂きたい、ご入用の節は各営業所にご請求ください。

(資料番号:50N-EY400023_簡易操作マニュアル

/2005年10月作成)

・内容紹介

主な内容は、主な操作位置と電源の入/切、運動設定画面、グラフ画面、映像画面の紹介、アイソキネティック運動、アイソトニック運動、初期リハモードについて、使用手順の例、初期リハモードの使用方法について解説しています。リハドクターや現場の理学療法士の先生方にご説明の際にご活用ください。

あとがき

皆様からの、ストレングスエルゴに関する話題又は掲載希望の情報を、是非お願い致します。

StrengthErgo.240

StrengthErgo240 簡易操作マニュアル

取扱説明書および添付文書の内容をよく理解してからご使用ください。

(1) ストレングスエルゴの主な操作位置と電源の入/切

クラシクの種類
機軸クラシク 170mm
シートクラシク 110mm

アンダーカウル
アンダーカウルの部分を握ると、アシストは停止します。

ゴムサンダル
S 24.5~25.2cm
M 25.8~26.4cm
L 27.0~27.5cm

シート前後
スライド用
レバー

シート前後位置
読取り用目盛

主電源スイッチ
(シート背面下部のリアパネル 緑色)

プリンター

スピーカー

緊急停止用
ボタン2個
1個はパソコンラックに取付け、他の1個はシートハンドル部

背もたれ角度
調節レバー

背もたれ角度
読取り用目盛

【1】電源の入れ方
①リアパネルの主電源スイッチを入れる。(緑色ランプ ON 確認) プリンター及びスピーカーも同時に ON となります。
②スタートは、**開始**ボタンをクリックします。

【2】電源の切り方
①作業終了後、操作画面より **その他** タグをクリックし、**シャットダウン** を選ぶ。更に **シャットダウン** をクリックすると、P.C.電源が切れます。
②P.C.モニターの表示が完全に消えた後、リアパネルの主電源スイッチを切ります。(緑色ランプ OFF 確認)
③リアパネルの主電源スイッチを切ると、プリンター及びスピーカーも同時に OFF となります。

ご注意: PCの通信中は、絶対主電源スイッチを切らないで下さい。データが破損する恐れがあります。

患者の滞りやすい姿勢の目安
■ 背もたれ角度 約 110° (目盛 2)
■ シートの前後位置 患者の脚伸展時で、膝角度が 90° ~ 90° 位
■ 患者の身体的条件や病状・病歴によって左右されます。患者の滞りやすい条件を見つける事が重要です。

発行元: 三菱電機エンジニアリング株式会社
産業システム事業部 制御技術部 ウエルネス課
〒486-0906 愛知県春日井市下町屋町字下屋敷 139
TEL (0568)-36-2064 FAX(0568)-36-2045